

		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討					
目視観察結果	クビレミドロ監視地点及び、工事の濁り監視地点の全てで、監視基準を満足していた。 クビレミドロ監視地点での最大値は3月13日のst.1で5.2mg/Lであった。 工事の濁り監視地点での最大値は3月13日のst.4で7.2mg/Lであった。		今月は国工事は行われておらず、県施工事は、護岸整備工事で、汚濁防止膜管理・撤去、灯浮標撤去等が行われていたが、施工箇所からの濁りの拡散は確認されなかった。						
	水質調査結果	<table border="1"> <tr> <td>クビレミドロ監視地点基準値【st.1～3: SS=7mg/L】</td> <td>全ての地点で、監視基準(SS=7mg/L)を満足していた。 平均値は2.1mg/L、1.2～5.2mg/Lの範囲で推移していた。</td> </tr> <tr> <td>工事の濁り監視地点基準値【st.4～12: SS=11mg/L】</td> <td>全ての地点で、監視基準(SS=11mg/L)を満足していた。 平均値は1.8mg/L、0.7～7.2mg/Lの範囲で推移していた。</td> </tr> <tr> <td>流入部負荷量の調査地点</td> <td>SS=11mg/Lを超えた回数: st.13=3回(14計測中) SS=50mg/Lを超えた回数: st.13=0回(14計測中) 平均値は9.8mg/L、4.5～43.8mg/Lの範囲で推移していた。</td> </tr> <tr> <td>流入水路部調査地点(st.13)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。</td> <td>3/13の43.8mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日0.0mm、前日12.0mm、当日3.5mmであった。</td> </tr> </table>			クビレミドロ監視地点基準値【st.1～3: SS=7mg/L】	全ての地点で、監視基準(SS=7mg/L)を満足していた。 平均値は2.1mg/L、1.2～5.2mg/Lの範囲で推移していた。	工事の濁り監視地点基準値【st.4～12: SS=11mg/L】	全ての地点で、監視基準(SS=11mg/L)を満足していた。 平均値は1.8mg/L、0.7～7.2mg/Lの範囲で推移していた。	流入部負荷量の調査地点
クビレミドロ監視地点基準値【st.1～3: SS=7mg/L】	全ての地点で、監視基準(SS=7mg/L)を満足していた。 平均値は2.1mg/L、1.2～5.2mg/Lの範囲で推移していた。								
工事の濁り監視地点基準値【st.4～12: SS=11mg/L】	全ての地点で、監視基準(SS=11mg/L)を満足していた。 平均値は1.8mg/L、0.7～7.2mg/Lの範囲で推移していた。								
流入部負荷量の調査地点	SS=11mg/Lを超えた回数: st.13=3回(14計測中) SS=50mg/Lを超えた回数: st.13=0回(14計測中) 平均値は9.8mg/L、4.5～43.8mg/Lの範囲で推移していた。								
流入水路部調査地点(st.13)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。	3/13の43.8mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日0.0mm、前日12.0mm、当日3.5mmであった。								
基準超過時の気象概況	全ての地点で、監視基準を満足していた。		<p>【調査位置図】</p>						
基準超過時の工事状況	全ての地点で、監視基準を満足していた。								

第12回(3月期モニタリング／フィードバック 月例会議)

対象期間：令和8年3月1日～令和8年3月31日 沖縄県調査分

		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討
目視観察結果	<p>調査地点の最高値は、3月13日(PM)にst.5で観測された7.8 mg/Lであった。 期間中は、全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>		<p>工事に伴う濁りは確認されなかった。</p>	
	水質調査結果	<p>工事の濁り監視地点基準値 【st.5～8: SS=11mg/L】</p>	<p>期間中は、全地点で工事監視基準値を満足した。 平均値は1.7 mg/L、<1.0～7.8 mg/Lの範囲で推移していた。</p>	<p>特になし</p>
		<p>詳細結果 流入部負荷量の調査地点</p>	<p>SS=11 mg/Lを超えた回数： st.14 = 14計測中7回 st.15 = 14計測中0回</p>	<p>特になし</p>
			<p>SS=50 mg/Lを超えた回数： st.14 = 14計測中0回 st.15 = 14計測中0回</p>	
<p>流入水路部調査地点(st.14、st.15)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。</p>	<p>st.14: 3/5 (AM 下げ潮時) 44 mg/Lが最大値であった。 風浪による底質巻き上げの影響が見られた。 なお、調査時までの降水量は前々日0.0mm、前日0.0mm、当日0.0mmであった。(気象庁・胡屋)</p> <p>st.15: 3/17 (PM 上げ潮時) 9.7 mg/Lが最大値であった。 なお、調査時までの降水量は前々日0.0mm、前日0.0mm、当日0.0mmであった。(気象庁・胡屋)</p>			
基準超過時の気象概況	<p>全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>		<p>【調査位置図】</p>	
基準超過時の工事状況	<p>全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>			

